

特別な支援が必要な児童生徒の気づきのためのチェックリスト

調査年月日	年 月 日 時	記入者氏名	
児童生徒氏名		() 学年	() 歳

番号	問1・問2については、「ない、ある」 に○をつけて回答	ない	ある
問 1	全般的な知的発達の遅れがある		
問 2	国語又は算数（数学）の基礎的能力に著しい遅れがある ■著しい遅れとは・・・小学生3年生以下の場合：国語又は算数で一学年以上の遅れ 小学生4年生以上の場合：国語又は算数（数学）で2学年以上の遅れ		

I 「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」				
領域	番号	問3～問32については、ない=0 まれにある=1 とときどきある=2 よくある=3 の4段階で回答	得点	計
聞く	問 3	聞き間違いがある（「知った」を「行った」と聞き間違える）		
	問 4	聞きもらしがある		
	問 5	個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい		
	問 6	指示の理解が難しい		
	問 7	話し合いが難しい（話し合いの流れが理解できず、ついていけない）		
話す	問 8	適切な速さで話すことが難しい（たどたどしく話す。とても早口である）		
	問 9	ことばにつまったりする		
	問 10	単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しい話をする		
	問 11	思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい		
	問 12	内容をわかりやすく伝えることが難しい		
読む	問 13	初めて出てきた語や、普段あまり使わない語などを読み間違える		
	問 14	文中の語句や行を抜かしたり、または繰り返し読んだりする		
	問 15	音読が遅い		
	問 16	勝手読みがある（「いきました」を「いました」と読む）		
	問 17	文章の要点を正しく読みとることが難しい		
書く	問 18	読みにくい字を書く（字の形や大きさが整っていない。まっすぐに書けない）		
	問 19	独特の筆順で書く		
	問 20	漢字の細かい部分を書き間違える		
	問 21	句読点が抜けたり、正しく打つことができない		
	問 22	限られた量の作文や、決まったパターンの文章しか書かない		
計算する	問 23	学年相応の数の意味や表し方についての理解が難しい （三千四十七を300047や347と書く。分母の大きい方が分数の値として大きいと思っている）		
	問 24	簡単な計算が暗算でできない		
	問 25	計算をするのにとっても時間がかかる		
	問 26	答えを得るのにいくつかの手続きを要する問題を解くのが難しい （四則混合の計算。2つの立式を必要とする計算）		
	問 27	学年相応の文章題を解くのが難しい		
推論する	問 28	学年相応の量を比較することや、量を表す単位を理解することが難しい （長さやかさの比較。「15cm は150mm」ということ）		
	問 29	学年相応の図形を描くことが難しい（丸やひし形などの図形の模写。見取り図や展開図）		
	問 30	事物の因果関係を理解することが難しい		
	問 31	目的に沿って行動を計画し、必要に応じてそれを修正することが難しい		
	問 32	早合点や、飛躍した考えをする		

II 「不注意」「多動性／衝動性」				
領域	番号	問33～問50については、ない・ほとんどない＝0 ときどきある＝1 しばしばある＝2 非常にしばしばある＝3 の4段階で回答	得点	計
不注意	問 33	学校での勉強で、細かいところまで注意を払わなかったり、不注意な間違いをしたりする		
	問 34	課題や遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい		
	問 35	面と向かって話しかけられているのに、聞いていないようにみえる		
	問 36	指示に従えず、また仕事を最後までやり遂げない		
	問 37	学習課題や活動を順序立てて行うことが難しい		
	問 38	集中して努力を続けなければならない課題（学校の勉強や宿題など）を避ける		
	問 39	学習課題や活動に必要な物をなくしてしまう		
	問 40	気が散りやすい		
	問 41	日々の活動で忘れっぽい		
多動性／衝動性	問 42	じっとしていない。または何かに駆り立てられるように活動する		
	問 43	手足をそわそわ動かしたり、着席していても、もじもじしたりする		
	問 44	授業中や座っているべき時に席を離れてしまう		
	問 45	きちんとしていなければならぬ時に、過度に走り回ったりよじ登ったりする		
	問 46	遊びや余暇活動に大人しく参加することが難しい		
	問 47	過度にしゃべる		
	問 48	質問が終わらない内に出し抜けて答えてしまう		
	問 49	順番を待つのが難しい		
	問 50	他の人がしていることをさえぎったり、じゃましたりする		

III 「対人関係やこだわり等」				
番号	問51～問77については、同じ学年の児童生徒と比べ、特に目立つかどうかで考え、いいえ＝0 多少＝1 はい＝2 の3段階で回答	得点	計	
問 51	大人びている。ませている			
問 52	みんなから、「〇〇博士」「〇〇教授」と思われている（例：カレンダー博士）			
問 53	他の子どもは興味を持たないようなことに興味があり、「自分だけの知識世界」を持っている			
問 54	特定の分野の知識を蓄えているが、丸暗記であり、意味をきちんとは理解していない			
問 55	含みのある言葉や嫌みを言われても分からず、言葉通りに受けとめてしまうことがある			
問 56	会話の仕方が形式的であり、抑揚なく話したり、間合いが取れなかったりすることがある			
問 57	言葉を組み合わせ、自分だけにしか分からないような造語を作る			
問 58	独特な声で話すことがある			
問 59	誰かに何かを伝える目的がなくても、場面に関係なく声を出す （例：唇を鳴らす、咳払い、喉を鳴らす、叫ぶ）			
問 60	とても得意なことがある一方で、極端に不得手なものがある			
問 61	いろいろな事を話すが、その時の場面や相手の感情や立場を理解しない			
問 62	共感性が乏しい			
問 63	周りの人が困惑するようなことも、配慮しないで言うってしまう			
問 64	独特な目つきをすることがある			
問 65	友達と仲良くしたいという気持ちはあるけれど、友達関係をうまく築けない			
問 66	友達のそばにはいるが、一人で遊んでいる			
問 67	仲の良い友人がいない			
問 68	常識が乏しい			

問 69	球技やゲームをする時、仲間と協力することに考えが及ばない	
問 70	動作やジェスチャーが不器用で、ぎこちないことがある	
問 71	意図的でなく、顔や体を動かすことがある	
問 72	ある行動や考えに強くこだわることによって、簡単な日常の活動ができなくなることもある	
問 73	自分なりの独特な日課や手順があり、変更や変化を嫌がる	
問 74	特定の物に執着がある	
問 75	他の子どもたちから、いじめられることがある	
問 76	独特な表情をしていることがある	
問 77	独特な姿勢をしていることがある	

本チェックリストを活用するにあたって

(1) 本チェックリストについて

このチェックリストは、通常の学級の担任等が、児童生徒の特別な支援の必要性に気づくとともに、つまずきの状況を把握する際の日常観察の一資料としてご活用いただくことを目的としています。

本チェックリストの項目は、文部科学省が平成14年2月から3月にかけて実施した、学習障がい(LD)、注意欠陥/多動性障がい(ADHD)、高機能自閉症等、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒の実態を明らかにし、今後の施策の在り方や教育の在り方の検討の基礎資料とするための全国実態調査の項目を利用したものです。従って、本チェックリストの結果をもって、障がいの有無を特定したり、判断したりするものではありません。

(2) チェックリストの集計と「つまずきを把握するためのチェックリスト」の実施との関連について

以下の集計結果になった場合、「つまずきを把握するためのチェックリスト」実施し、総合的にとらえることが大切です。

①学習面(「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」)

※「聞く」「話す」等の6つの領域(各5つの設問)の内、少なくともひとつの領域で該当項目が12ポイント以上の場合

②行動面(「不注意」「多動性－衝動性」)

※「不注意」、「多動性－衝動性」の領域の少なくとも一つの領域で該当する項目が6ポイント以上の場合

ただし、回答の0、1点を0点に、2、3点を1点にして計算してください。

③行動面(「対人関係やこだわり等」)

※該当する項目が22ポイント以上の場合

(3) 留意事項

本調査は、担任教師による回答に基づくもので、LDの専門家チームによる判断ではなく、医師による診断によるものではありません。

従って、本調査の結果は、LD・ADHD・高機能自閉症の割合を示すものではないことに注意する必要があります。

平成 19 年 5 月

児童生徒のつまずきを把握するためのチェックリスト改訂版（小学校）

県教育庁 義務教育課

_____年 _____組 _____番（男 女） 氏名_____

1 本チェックリストを使用するねらい

本チェックリストは、担任教員が、特別の支援が必要な児童生徒のつまずきの状況を把握する際に、学校生活の様子をいくつかの視点から観察した一資料としてご活用いただくものです。

※ 本チェックリストの結果をもってLD、ADHD、高機能自閉症などの障がいの有無を特定したり、判断したりするものではないことにご注意ください。

2 活用方法

- ・ 「特別な支援が必要な児童生徒の気づきのためのチェックリスト」よりも、より詳しくつまずきの状況を把握する際に活用します。
- ・ 学校生活の様々な場面におけるチェック項目があることから、具体的に支援を考える際の参考になります。

3 チェックの仕方

①「教科学習」についてのチェックリストは学習における特異な困難を、②「生活面、行動面」についてのチェックリストは不注意・多動性・衝動性等を、③「自閉的傾向」についてのチェックリストは自閉的な傾向について調べるものです。

それぞれ、他の児童・生徒と比べて特に顕著であると思われる場合、□の中に「✓」を記入します。まだ学習していない場合やよく分からない場合は、□の中に「/」を記入します。なお、記入後、「✓」の数を、集計用紙を使いチェック数の欄に記入します。

①教科学習について チェックリスト1-1（1～3年用） チェックリスト1-2（4～6年用）

問1で「ない」に該当した上で、集計の結果、それぞれの項目に**1/3以上**のチェックがある場合は、学習のある面において特異な困難がある可能性が考えられます。（あくまでも目安です）

「クラスでできる支援ヒント集」の4～19ページを参考にしてみてください。

②生活面・行動面について チェックリスト2（1～6年共通）

集計の結果、それぞれの項目に**1/3以上**のチェックがある場合は、生活面や行動面において特異な困難がある可能性が考えられます。（あくまでも目安です）

「クラスでできる支援ヒント集」の20～27ページを参考にしてみてください。

③自閉的傾向について チェックリスト3（1～6年共通）

集計の結果、**2/3以上**の項目にチェックがある場合、自閉的な傾向に配慮した支援が必要である可能性が考えられます。（あくまでも目安です）

「クラスでできる支援ヒント集」の28～37ページを参考にしてみてください。

年 氏名 _____

問	以下について、「ない、ある」に○をつける	ない	ある
1	全般的な知的発達の遅れがある		
2	国語又は算数（数学）の基礎的能力に著しい遅れがある。 ■ 著しい遅れとは…小学校 3 年生以下の場合：国語又は算数で 1 学年以上の遅れ 小学校 4 年生以上の場合：国語又は算数（数学）で 2 学年以上の遅れ		

【国語】

I 聞く

- ①簡単な単語の意味を取り違える
- ②指示がよく理解できず、まごつく
- ③聞き間違いが多い
- ④聞いたことがなかなか覚えられない
- ⑤相手の話をいつも聞いていないように思える
- ⑥学級の話し合いについていけない
- ⑦ちょっとした雑音でも注意がそれやすい

チェック数 (教科学習)	
【国語】	<input type="text"/> / 7
I 聞く	

II 話す

- ①意味のある話し言葉がない
- ②特定の音節の発音ができない
- ③特定の音を別の音に置き換えて発音する
- ④幼児語が多い
- ⑤発音、声の大きさ、抑揚、話す速度などが変である
- ⑥文法的に誤りのある話し方をすることが多い
- ⑦的確な言葉を見つけられなかったり、つまったりすることが多い
- ⑧相手が聞いて分かるように話せない
- ⑨自分だけに意味の分かる言葉を使って話す

チェック数 (教科学習)	
【国語】	<input type="text"/> / 9
II 話す	

III 読む

- ①読めない平仮名がある
- ②読めない片仮名がある
- ③促音（「っ」）や拗音（「しゃ、ちょ」など）を読み間違える
- ④助詞「は」「を」「へ」などを読み間違える
- ⑤接続詞（だから、けれども、など）を読み間違える
- ⑥文字の順序を間違えたり（おどろき→おろどき）、混同して読んだりすることが多い（ドレミ→ドラミ）
- ⑦一字一字は読めるが、たどり読みである
- ⑧指でなぞりながら文字を読む
- ⑨文字を抜かしたり、付け加えたりして読む
- ⑩行をとばして読む
- ⑪文章の内容がつかめない

チェック数 (教科学習)	
【国語】	<input type="text"/> / 11
III 読む	

IV 書く

- ①書けない平仮名がある
- ②書けない片仮名がある
- ③促音や拗音を間違えて書く
- ④助詞「は」「を」「へ」などを混同して書く
- ⑤接続詞「だから」「けれども」などを適切に使用できない
- ⑥判読しにくい乱雑な文字を書く
- ⑦文字の大きさが整わない
- ⑧漢字の細かい部分を間違えて書く
- ⑨鏡文字を書く
- ⑩漢字のへんとつくりを反対に書く
- ⑪文字を省略したり（がっこう→がこう）、転化させたり（花だん→花ざん）して書く
- ⑫当て字を書く（お母さん→おかあ三、シャワー→車わあ）
- ⑬文字を並べるだけで、意味のある文章が書けない
- ⑭黒板の文字を視写するのに時間がかかる

チェック数 (教科学習)

【国語】

IV 書く

/ 14

【算数】

I 図形

- ①形を構成（3 三角形のカード 2 枚をあわせて四角形を作る）したり、分解したりすることができない
- ②正方形、長方形、三角形など、図形を構成する要素が分からない

チェック数 (教科学習)

【算数】

I 図形

/ 2

II 数

- ①3 位数までの数を正確に読んだり、書き表すことが困難である
- ②二十三を 203 というように書き表すことがある
- ③1 から 100 までの数唱に時間がかかったり、同じ数を二度言ったり、ある数を抜かしたりする
- ④二つ以上の数を順序どおり並べたり、大小を比較することができない

チェック数 (教科学習)

【算数】

II 数

/ 4

III 計算

- ①+、-、×、÷、=などの記号の意味が理解できない
- ②足し算や引き算を行う際に、自分勝手なルールを作り、それに従って計算することがある
- ③1 位数同士の計算に 30 秒以上かかることがある
- ④1 位数同士の足し算が暗算でできない
- ⑤2 位数以上の筆算をする際、位をそろえることが難しい
- ⑥2 位数以上の足し算をする際、計算を左の桁から始めてしまう
- ⑦筆算をする際、それぞれの桁を別々に独立して計算してしまう
- ⑧3 つ以上の数の含まれる計算ができない（例 4 + 5 - 8）

チェック数 (教科学習)

【算数】

III 計算

/ 8

IV 数学的思考、空間・時間の概念、記憶など

- ①文章題を読んで、加法や減法の立式をすることができない
- ②3 と 4 をいっしょにすれば 7 が分かるのに、7 が 3 といくつか分からない
- ③加法と減法など、計算相互の関係が分からない
- ④多い、少ない／長い、短い／広い、狭い／太い、細い／重い、軽いなどの意味がわからない

- ⑤～の上に(～の下に)、～の右側に(～の左側に)、～の前に(～の後ろに)、近い、遠いなどの空間を表す言葉の意味が分からない
- ⑥きのう・今日・あした、去年・今年・来年・より早いより遅いなどの時間の概念を表す言葉の意味が分からない
- ⑦アナログ時計を見て時刻を読めない
- ⑧算数の用語や記号がなかなか覚えられない
- ⑨電話番号のような多くの桁の数字を記憶することが難しい
- ⑩九九の暗唱ができない
- ⑪20cmが具体的にどのくらいなのかが分からない
- ⑫ものさしを使って1cm単位の長さ(例:10cm)を測ることができない

チェック数 (教科学習)

【算数】 / 12
IV 思考 他

【音楽】

- ①鍵盤ハーモニカで学年相当の曲を演奏することが難しい
- ②身体表現をしながら歌をうたうことが難しい
- ③簡単なリズムを手拍子で打つことが難しい

チェック数 (教科学習)

【音楽】 / 3

【図工】

- ①はさみを使い、直線や曲線に沿って紙を切ることが難しい
- ②小刀等の刃物を安全に使うことが難しい
- ③折り紙の端をそろえて折ることが難しい
- ④感じたこと、思ったことを自由に絵や立体(粘土細工など)に表すことが難しい
- ⑤幼い絵を描く

チェック数 (教科学習)

【図工】 / 5

【体育】

- ①走の運動(かけっこ、リレー等)がうまくできない
- ②跳の運動(幅跳び、ゴム跳び等)がうまくできない
- ③力試しの運動(片足相撲等)がうまくできない
- ④器械・器具を使っての運動(登り棒、鉄棒等)がうまくできない
- ⑤縄跳びがうまくできない
- ⑥ボール操作(投げる、受け止める、渡す、蹴る、ドリブル等)がうまくできない
- ⑦プールでの水遊びがうまくできない
- ⑧模倣の運動がうまくできない
- ⑨ゲーム(鬼ごっこ、ドッジボール等)がうまくできない
- ⑩スキップがうまくできない
- ⑪縦隊の集合、整とん、行進がうまくできない
- ⑫利き手をはっきりしない

チェック数 (教科学習)

【体育】 / 12

年 氏名 _____

問	以下について、「ない、ある」に○をつける	ない	ある
1	全般的な知的発達の遅れがある		
2	国語又は算数（数学）の基礎的能力に著しい遅れがある。 ■著しい遅れとは…小学校3年生以下の場合：国語又は算数で1学年以上の遅れ 小学校4年生以上の場合：国語又は算数（数学）で2学年以上の遅れ		

【国語】

I 聞く

- ①簡単な単語の意味を取り違える
- ②指示がよく理解できず、まごつく
- ③聞き間違いが多い
- ④聞いたことがなかなか覚えられない
- ⑤相手の話をいつも聞いていないように思える
- ⑥学級の話し合いについていけない
- ⑦ちょっとした雑音でも注意がそれやすい

チェック数 (教科学習)	
【国語】	<input type="text"/> / 7
I 聞く	

II 話す

- ①意味のある話し言葉がない
- ②特定の音節の発音ができない
- ③特定の音を別の音に置き換えて発音する
- ④幼児語が多い
- ⑤発音、声の大きさ、抑揚、話す速度などが変である
- ⑥文法的に誤りのある話し方をすることが多い
- ⑦的確な言葉を見つけられなかったり、つまったりすることが多い
- ⑧相手が聞いて分かるように話せない
- ⑨自分だけに意味の分かる言葉を使って話す

チェック数 (教科学習)	
【国語】	<input type="text"/> / 9
II 話す	

III 読む

- ①読めない平仮名がある
- ②読めない片仮名がある
- ③促音（「っ」）や拗音（「しゃ、ちょ」など）を読み間違える
- ④助詞「は」「を」「へ」などを読み間違える
- ⑤接続詞（だから、けれども、など）を読み間違える
- ⑥文字の順序を読み間違えたり（おどろき→おろどき）、混同して読むことが多い（ドレミ→ドラミ）
- ⑦一字一字は読めるが、たどり読みである
- ⑧指でなぞりながら文字を読む
- ⑨文字を抜かしたり、付け加えたりして読む
- ⑩行をとばして読む
- ⑪文章の内容がつかめない

チェック数 (教科学習)	
【国語】	<input type="text"/> / 11
III 読む	

IV 書く

- ①書けない平仮名がある
- ②書けない片仮名がある
- ③促音や拗音を間違えて書く
- ④助詞「は」「を」「へ」などを混同して書く
- ⑤接続詞「だから」「けれども」などを適切に使用できない
- ⑥判読しにくい乱雑な文字を書く
- ⑦文字の大きさが整わない
- ⑧漢字の細かい部分を間違えて書く
- ⑨鏡文字を書く
- ⑩漢字のへんとつくりを反対に書く
- ⑪文字を省略したり（がっこう→がこう）、転化させたり（花だん→花ざん）して書く
- ⑫当て字を書く（お母さん→おかあ三、シャワー→車わあ）
- ⑬文字を並べるだけで、意味のある文章が書けない
- ⑭黒板の文字を視写するのに時間がかかる

チェック数 (教科学習)

【国語】

IV 書く

/ 14

【算数】

I 図形

- ①三角定規やコンパスなどの器具を用いて、図形（多角形、円）を描き表すことが難しい
- ②図形の見取り図や立体図などを描くことが難しい
- ③図形の構成要素（辺、頂点、角、直径、中心など）や構成要素間の関係を理解することが難しい

チェック数 (教科学習)

【算数】

I 図形

/ 3

II 数

- ①小数の表記が困難である
- ②分数を小数に書き直すことができない
- ③小数点以下第2位までの数（例：3.75）の値が具体的に理解できない
- ④分数の表記が困難である
- ⑤小数を分数に書き直すことができない
- ⑥分母の大きいほうが、分数としての値が大きいと理解している
- ⑦帯分数を仮分数に直す、あるいは、その逆の操作を行うことが難しい

チェック数 (教科学習)

【算数】

II 数

/ 7

III 計算

- ①+、-、×、÷、=、<、>などの記号の意味が理解できない
- ②四則計算を行う際に、自分勝手なルールを作り、それに従って計算することがある
(例：0を含んだ計算式については、いつもその部分を無視して計算する)
- ③2位数同士の計算に30秒以上かかることがある
- ④2位数同士の加法や減法の計算が暗算でできない
- ⑤2位数以上の筆算をする際、位をそろえることが難しい
- ⑥乗算の筆算において、位取りを誤る
- ⑦加法や減法の筆算をする際、計算を左の桁から始めてしまう
- ⑧筆算をする際、それぞれの桁を別々に独立して計算してしまう
- ⑨多くの操作を要する計算問題（例： $9 \div 3 + 2 \times 4$ ）を解くことができない
- ⑩分数や小数の計算ができない
- ⑪乗法と除法の関係というような、計算相互の関係が理解できない
- ⑫単位の換算（例：12 cm ⇔ 120 mm）ができない

チェック数 (教科学習)

【算数】

III 計算

/ 12

IV 数量関係

- ①表やグラフから数量間の関係を読み取ることができない
- ②変化する数量間の関係を、表やグラフで表すことができない

チェック数 (教科学習)	
【算数】	
IV 数量関係	□ / 2

V 数学的思考、空間・時間の概念、記憶など

- ①文章で書かれた問題を読んで、式をたてることができない
- ②位置や空間の概念を表す言葉（上下、左右、前後など）の意味が理解できない
- ③時間の概念を表す言葉（～より早い（前）／～より遅い（後）など）の意味が理解できない
- ④アナログ時計の時刻が読めない
- ⑤時間（時、分、秒）の計算ができない
- ⑥暦（年、月、週、日）の計算ができない
- ⑦九九の暗唱ができない
- ⑧算数の用語や記号、また面積などを求める公式がなかなか覚えられない
- ⑨日常生活に必要な程度のおおよその長さ、重さが具体的に理解できない
- ⑩ものさしを使って5ミリ単位の長さ(例：18.5cm)を測ることができない

チェック数 (教科学習)	
【算数】	
V 思考他	□ / 10

【音楽】

- ①リコーダーで学年相当の曲を演奏することが難しい
- ②正しい音程やリズムで歌をうたうことが難しい
- ③合唱や合奏することが難しい
- ④打楽器などを使って、簡単なリズムを打つことが難しい

チェック数 (教科学習)	
【音楽】	
	□ / 4

【図工】

- ①はさみを使い、直線や曲線に沿って紙を切ることが難しい
- ②小刀、彫刻刀、のこぎり等の刃物を安全に使うことが難しい
- ③折り紙の端をそろえて折ることが難しい
- ④見たこと、感じたこと、想像したこと絵や立体(粘土細工など)に表すことが難しい
- ⑤幼い絵を描く

チェック数 (教科学習)	
【図工】	
	□ / 5

【体育】

- ①体操（徒手体操等）がうまくできない
- ②マット運動がうまくできない
- ③鉄棒がうまくできない
- ④跳び箱がうまくできない
- ⑤陸上運動（リレー、短距離走、障害走、走り幅跳び、走り高跳び）がうまくできない
- ⑥水泳がうまくできない
- ⑦縄跳びがうまくできない
- ⑧ボール操作がうまくできない
- ⑨表現運動（フォークダンス）がうまくできない
- ⑩ルールのあるゲームがうまくできない
- ⑪縦隊及び横隊の集合、整とん、列の増減などがうまくできない
- ⑫スキップがうまくできない
- ⑬片足で5秒以上立っていることができない
- ⑭勝ち負けに異常にこだわる
- ⑮利き手や利き足がはっきりしていない

チェック数 (教科学習)	
【体育】	
	□ / 15

チェックリスト2：【生活面、行動面】について（1～6年共通）

年 氏名

I 授業場面で以下のような様子が見られますか

- ①必要もないのによく席を立つ
- ②席に座っていても落ち着きのない行動（絶えず体を動かす、椅子をがたがたさせるなど）が目立つ
- ③非常によくしゃべる
- ④話にまとまりがなく、何を言っているのかよく分からない
- ⑤注意を持続して課題に取り組むことが難しい
- ⑥特に新しいもの、難しそうなものだと「分からない、出来ない」と言って初めから学習や活動へ取り組もうとしない
- ⑦勉強で細かいところまで注意を払わなかったり、不注意な間違いをしたりする
- ⑧黒板の視写に時間がかかる
- ⑨ボーッとしている場面が多く見られる
- ⑩他児にちょっかいを出すことがとても多い
- ⑪面と向かって話しかけられているのに、聞いていないようにみえる
- ⑫質問を最後まで聞かないうちに答えを言うことがある
- ⑬いつも教師の注意をひこうとする
- ⑭指示に従えず、また仕事を最後までやり遂げることができない
- ⑮教師の働きかけに対して口ごたえが多い
- ⑯質問に対して的外れの答えをすることが多い
- ⑰質問をされた時や発表の時などに、吃音やチックが出やすい
- ⑱知的な能力のわりには、成績が伸びないように思われる

チェック数 (生活面、行動面)

授業場面

18

II 休み時間帯で以下のような様子が見られますか

- ①ゲームや集団の場面で、自分の順番が来るのを待てない
- ②集団のゲームのルールがよく分からない
- ③いつも一人でいて、友達と口をきくことはあまりない
- ④相手の嫌がることをしたり、言ったりすることが多い
- ⑤乱暴で、けんかが多い
- ⑥他人の会話に割り込むことがよくある
- ⑦仲間はずれやいじめの対象になりやすい

チェック数 (生活面、行動面)

休み時間帯

7

III 学校生活全般に関して以下のような様子が見られますか

- ①忘れ物が極端に多い
- ②遅刻が多い
- ③整理整頓が苦手で、机やロッカーの中などがいつも乱雑である
- ④偏食、過食、小食などが著しい
- ⑤ボタンのかけはずし、ひも結びなどが下手である
- ⑥動作が遅い
- ⑦服装が極端にだらしない
- ⑧食事や着替えにやたらと時間がかかる
- ⑨羞恥心にかける
- ⑩あとさきかまわず行動することがよくある
- ⑪よく物をなくしたり壊したりする
- ⑫言動が同年齢の子と比べて幼い
- ⑬周囲の刺激から影響を受けやすく、気が散りやすい
- ⑭簡単な地図を見て行動することができない
- ⑮平気で危険なことをする
- ⑯冗談や皮肉が通じない
- ⑰感情のコントロールがうまくできない
- ⑱他の子どもから影響を受けやすい
- ⑲日々の活動で忘れっぽい
- ⑳相手の顔を見て会話することができない

チェック数 (生活面、行動面)

学校生活全般

20

チェック表 3 : 【自閉的傾向】について (1 ~ 6 年 共通)

年 氏名 _____

【自閉的傾向について】

(1/1)

- ①他者への関心が乏しい
- ②視線が合いにくい
- ③相手の気持ちがよく分からない
- ④他者から関わられることをいやがる
- ⑤模倣や社会性のある遊びが難しい
- ⑥含みのある言葉や嫌みを言われても分からず、言葉どおりに受け止めてしまう
- ⑦周りの人が困惑するようなことも、配慮しないで言う
- ⑧誰かに何かを伝える目的がなくても、場面に関係なく声を出す (唇を鳴らす、独り言、叫ぶ)
- ⑨自分の言いたいことだけを一方的に話し、相手の感情や立場を理解しない
- ⑩同じ質問を繰り返すことが多い
- ⑪言葉を組み合わせて、自分だけにしか分からないような造語を作る
- ⑫友達のそばに入るが、一人で遊んでいる
- ⑬仲のよい友達がない
- ⑭友だちと仲良くしたい気持ちはあるが、友だち関係をうまく築けない
- ⑮球技やゲームをするとき、仲間と協力することに考えが及ばない
- ⑯独特な目つきをすることがある
- ⑰ある行動や考えに強くこだわることによって、簡単な日常の活動ができなくなることがある
- ⑱物事の順序や物の置き場所などに異常にこだわる
- ⑲物の臭いや感触 (水、砂等) に異常にこだわる
- ⑳特定の物に執着がある
- ㉑自分なりの独特な日課や手順があり、変更や変化を嫌がる
- ㉒特定の分野で (駅の名前、カレンダー等) で、並はずれた記憶力や才能を示す
- ㉓他の子どもは興味を持たないようなことに興味があり、「自分だけの知識世界」を持っている
- ㉔特定の分野の知識を蓄えているが、丸暗記であり、意味をきちんとは理解していない
- ㉕とても得意なことがある一方で、極端に不得手なものがある
- ㉖動作やジェスチャーが不器用で、ぎこちないことがある
- ㉗意図的でなく、顔や体を動かすことがある

チェック数 (自閉的傾向)

集計 / 27

2 / 3 = 18

平成19年5月

児童生徒のつまずきを把握するためのチェックリスト改訂版（中学校）

県教育庁 義務教育課

_____年 _____組 _____番（男 女） 氏名_____

1 本チェックリストを使用するねらい

本チェックリストは、担任教員が、特別の支援が必要な児童生徒のつまずきの状況を把握する際に、学校生活の様子をいくつかの視点から観察した一資料としてご活用いただくものです。

※ 本チェックリストの結果をもってLD、ADHD、高機能自閉症などの障がいの有無を特定したり、判断したりするものではないことにご注意ください。

2 活用方法

- ・ 「特別な支援が必要な児童生徒の気づきのためのチェックリスト」よりも、より詳しくつまずきの状況を把握する際に活用します。
- ・ 学校生活の様々な場面におけるチェック項目があることから、具体的に支援を考える際の参考になります。

3 チェックの仕方

①「教科学習」についてのチェックリストは学習における特異な困難を、②「生活面、行動面」についてのチェックリストは不注意・多動性・衝動性等を、③「自閉的傾向」についてのチェックリストは自閉的な傾向について調べるものです。

それぞれ、他の児童・生徒と比べて特に顕著であると思われる場合、□の中に「✓」を記入します。まだ学習していない場合やよく分からない場合は、□の中に「/」を記入します。なお、記入後、「✓」の数を、集計用紙を使いチェック数の欄に記入します。

①教科学習について チェックリスト1-1（中学校共通）

問1で「ない」に該当した上で、集計の結果、それぞれの項目に**1/3以上**のチェックがある場合は、学習のある面において特異な困難がある可能性が考えられます。（あくまでも目安です）

「クラスでできる支援ヒント集」の4～19ページを参考に見て下さい。

②生活面・行動面について チェックリスト2（中学校共通）

集計の結果、それぞれの項目に**1/3以上**のチェックがある場合は、生活面や行動面において特異な困難がある可能性が考えられます。（あくまでも目安です）

「クラスでできる支援ヒント集」の20～27ページを参考に見て下さい。

③自閉的傾向について チェックリスト3（中学校共通）

集計の結果、**2/3以上**の項目にチェックがある場合、自閉的な傾向に配慮した支援が必要である可能性が考えられます。（あくまでも目安です）

「クラスでできる支援ヒント集」の28～37ページを参考に見て下さい。

チェックリスト1-1 (中学校共通) : 【教科学習】について

(1/3)

年 氏名

問	以下について、「ない、ある」に○をつける	ない	ある
1	全般的な知的発達の遅れがある		
2	国語又は算数(数学)の基礎的能力に著しい遅れがある。 ■著しい遅れとは…小学校3年生以下の場合：国語又は算数で1学年以上の遅れ 小学校4年生以上の場合：国語又は算数(数学)で2学年以上の遅れ		

【国語】

I 聞く

- ①簡単な単語の意味を取り違える
- ②指示がよく理解できず、まごつく
- ③聞き間違いが多い
- ④聞いたことがなかなか覚えられない
- ⑤相手の話をいつも聞いていないように思える
- ⑥学級の話し合いについていけない
- ⑦ちょっとした雑音でも注意がそれやすい

チェック数 (教科学習)

I 聞く / 7

II 話す

- ①特定の音節の発音ができない
- ②発音、声の大きさ、抑揚、話す速度などが変である
- ③文法的に誤りのある話し方をすることが多い
- ④的確な言葉を見つけられなかったり、つまったりすることが多い
- ⑤相手が聞いて分かるように話せない
- ⑥自分だけに意味の分かる言葉を使って話す

チェック数 (教科学習)

II 話す / 6

III 読む

- ①促音(「っ」)や拗音(「しゃ、ちょ」など)を読み間違える
- ②助詞「は」「を」「へ」などを読み間違える
- ③接続詞(だから、けれども、など)を読み間違える
- ④文字の順序を読み間違えたり(おどろき→おろどき)、混同して読むことが多い(ドレミ→ドラミ)
- ⑤一字一字は読めるが、たどり読みである
- ⑥文字を抜かしたり、付け加えたりして読む
- ⑦行をとばして読む
- ⑧文章の内容がつかめない

チェック数 (教科学習)

III 読む / 8

IV 書く

- ①促音や拗音を間違えて書く
- ②助詞「は」「を」「へ」などを混同して書く
- ③接続詞「だから」「けれども」などを適切に使用できない
- ④判読しにくい乱雑な文字を書く
- ⑤文字の大きさが整わない
- ⑥漢字の細かい部分を間違えて書く
- ⑦文字を省略したり(がっこう→がこう)、転化させたり(花だん→花ざん)して書く
- ⑧当て字を書く(お母さん→おかあ三、シャワー→車わあ)
- ⑨文字を並べるだけで、意味のある文章が書けない
- ⑩黒板の文字を視写するのに時間がかかる

チェック数 (教科学習)

IV 書く / 10

【数学】

(2/3)

I 図形

- ①三角定規やコンパスなどの器具を用いて、図形（多角形や円）を描き表すことが難しい
- ②図形の見取り図や立体図などを描くことが難しい
- ③図形の構成要素（辺、頂点、角、直径、中心など）や構成要素間の関係を理解することが難しい
- ④図形の合同、対称を理解することが難しい
- ⑤簡単な立体の展開図をかくことが難しい

チェック数 (教科学習)

【数学】 / 5
I 図形

II 数・計算

- ①小数を分数に書き直す、あるいはその逆の操作を行うことが難しい
- ②小数点以下第3位までの数（例：4.375）の値が具体的に理解できない
- ③多くの操作を要する計算問題（例： $12 \times 8 - 18 \div 3$ ）を解くことができない
- ④2位数以上の筆算をする際、位をそろえることが難しい
- ⑤加法や減法及び乗法の筆算をする際、計算を左の桁から始めてしまう
- ⑥分数や小数の四則計算ができない
- ⑦加法と減法、乗法と除法の関係というような、計算相互の関係が理解できない
- ⑧単位の換算（例： $2500\text{g} \Leftrightarrow 2.5\text{kg}$ ）ができない
- ⑨2位数×（または÷）1位数の計算が暗算でできない

チェック数 (教科学習)

【数学】 / 9
II 数・計算

III 数学的思考、空間・時間の概念、記憶など

- ①表やグラフから数量間の関係を読み取ることができない
- ②変化する数量間の関係を、表やグラフで表すことができない
- ③文章で書かれた問題を読んで、式をたてることができない
- ④位置や空間の概念を表す言葉（上下、左右、前後など）の意味が理解できない
- ⑤時間の概念を表す言葉（～より早い（前）／～より遅い（後）など）の意味が理解できない
- ⑥時間（時、分、秒）や暦（年、月、週、日）の計算ができない
- ⑦日常生活に必要な程度のおおよその長さ、重さ、体積が具体的に理解できない
- ⑧九九の暗唱ができない
- ⑨数学の用語や記号、また面積や体積などを求める公式がなかなか覚えられない
- ⑩電話番号のような多くの桁の数字を記憶することが難しい

チェック数 (教科学習)

【数学】 / 10
III 思考等

【英語】

- ①単語をよく聞き間違える
- ②発音できない単語が多い
- ③「b」「d」「p」を間違えて読んだり、書いたりする
- ④単語の綴りに間違いが多い
- ⑤単語をとばして読んだり、発音を間違えたりする
- ⑥文章を読むことはできるが、意味がつかめない
- ⑦簡単な作文ができない

チェック数 (教科学習)

【英語】 / 7

【音楽】

- ①楽器を使って学年相当の曲を演奏することが難しい
- ②正しい音程やリズムで歌をうたうことが難しい
- ③合唱や合奏することが難しい
- ④打楽器などを使って、簡単なリズムを打つことが難しい

チェック数 (教科学習)
【音楽】 <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> / 4

【美術】

- ①はさみを使い、直線や曲線に沿って紙を切ることが難しい
- ②小刀、彫刻刀、のこぎり等の刃物を安全に使うことが難しい
- ③折り紙の端をそろえて折ることができない
- ④見たこと、感じたこと、想像したこと絵や立体(粘土細工など)に表すことが難しい
- ⑤幼い絵を描く

チェック数 (教科学習)
【美術】 <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> / 5

【体育】

- ①体操（徒手体操等）がうまくできない
- ②器械運動（マット運動、鉄棒、平均台、跳び箱）がうまくできない
- ③陸上運動（短距離、障害走、走り幅跳び、走り高跳びなど）がうまくできない
- ④水泳がうまくできない
- ⑤球技がうまくできない
- ⑥ダンスがうまくできない
- ⑦ルールのあるゲームがうまくできない
- ⑧集合、整とん、列の増減、方向転換などがうまくできない
- ⑨スキップがうまくできない
- ⑩片足で10秒以上立っていることができない
- ⑪縄跳びがうまくできない
- ⑫勝ち負けに異常にこだわる
- ⑬利き手や利き足がはっきりしていない

チェック数 (教科学習)
【体育】 <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> / 13

チェックリスト2（中学校共通）：【生活面、行動面】について

年 氏名

I 授業場面で以下のような様子が見られますか

(1/1)

- ①必要もないのによく席を立つ
- ②席に座っていても落ち着きのない行動（絶えず体を動かす、椅子をがたがたさせるなど）が目立つ
- ③非常によくしゃべる
- ④話にまとまりがなく、何を言ってるのかよく分からない
- ⑤注意を持続して課題に取り組むことが難しい
- ⑥特に新しいもの、難しそうなものだと「分からない、出来ない」と言って初めから学習や活動へ取り組もうとしない
- ⑦勉強で細かいところまで注意を払わなかったり、不注意な間違いをしたりする
- ⑧黒板の視写に時間がかかる
- ⑨ボーッとしている場面が多く見られる
- ⑩他児にちょっかいを出すことがとても多い
- ⑪面と向かって話しかけられているのに、聞いていないようにみえる
- ⑫質問を最後まで聞かないうちに答えを言うことがある
- ⑬いつも教師の注意をひこうとする
- ⑭指示に従えず、また仕事を最後までやり遂げることができない
- ⑮教師の働きかけに対して口ごたえが多い
- ⑯質問に対して的外れの答えをすることが多い
- ⑰質問をされた時や発表の時などに、吃音やチックが出やすい
- ⑱知的な能力のわりには、成績が伸びないように思われる

チェック数 (生活面、行動面)

授業場面

/ 18

II 休み時間帯で以下のような様子が見られますか

- ①ゲームや集団の場面で、自分の順番が来るのを待てない
- ②集団のゲームのルールがよく分からない
- ③いつも一人でいて、友達と口をきくことはあまりない
- ④相手の嫌がることをしたり、言ったりすることが多い
- ⑤乱暴で、けんかが多い
- ⑥他人の会話に割り込むことがよくある
- ⑦仲間はずれやいじめの対象になりやすい

チェック数 (生活面、行動面)

休み時間帯

/ 7

III 学校生活全般に関して以下のような様子が見られますか

- ①忘れ物が極端に多い
- ②遅刻が多い
- ③整理整頓が苦手で、机やロッカーの中などがいつも乱雑である
- ④偏食、過食、小食などが著しい
- ⑤ボタンのかけはずし、ひも結びなどが下手である
- ⑥動作が遅い
- ⑦服装が極端にだらしない
- ⑧食事や着替えにやたらと時間がかかる
- ⑨羞恥心にかける
- ⑩あとさきかまわず行動することがよくある
- ⑪よく物をなくしたり壊したりする
- ⑫言動が同年齢の子と比べて幼い
- ⑬周囲の刺激から影響を受けやすく、気が散りやすい
- ⑭簡単な地図を見て行動することができない
- ⑮平気で危険なことをする
- ⑯冗談や皮肉が通じない
- ⑰感情のコントロールがうまくできない
- ⑱他の子どもから影響を受けやすい
- ⑲日々の活動で忘れっぽい
- ⑳相手の顔を見て会話することができない

チェック数 (生活面、行動面)

学校生活全般

/ 20

年 氏名

【自閉的傾向について】

- ①他者への関心が乏しい
- ②視線が合いにくい
- ③相手の気持ちがよく分からない
- ④他者から関わられることをいやがる
- ⑤模倣や社会性のある遊びが難しい
- ⑥含みのある言葉や嫌みを言われても分からず、言葉どおりに受け止めてしまう
- ⑦周りの人が困惑するようなことも、配慮しないで言う
- ⑧誰かに何かを伝える目的がなくても、場面に関係なく声を出す（唇を鳴らす、独り言、叫ぶ）
- ⑨自分の言いたいことだけを一方的に話し、相手の感情や立場を理解しない
- ⑩同じ質問を繰り返すことが多い
- ⑪言葉を組み合わせて、自分だけにしか分からないような造語を作る
- ⑫友達のそばに入るが、一人で遊んでいる
- ⑬仲のよい友達がいない
- ⑭友だちと仲良くしたい気持ちはあるが、友だち関係をうまく築けない
- ⑮球技やゲームをするとき、仲間と協力することに考えが及ばない
- ⑯独特な目つきをすることがある
- ⑰ある行動や考えに強くこだわることによって、簡単な日常の活動ができなくなることがある
- ⑱物事の順序や物の置き場所などに異常にこだわる
- ⑲物の臭いや感触（水、砂等）に異常にこだわる
- ⑳特定の物に執着がある
- ㉑自分なりの独特な日課や手順があり、変更や変化を嫌がる
- ㉒特定の分野で（駅の名前、カレンダー等）で、並はずれた記憶力や才能を示す
- ㉓他の子どもは興味を持たないようなことに興味があり、「自分だけの知識世界」を持っている
- ㉔特定の分野の知識を蓄えているが、丸暗記であり、意味をきちんとは理解していない
- ㉕とても得意なことがある一方で、極端に不得手なものがある
- ㉖動作やジェスチャーが不器用で、ぎこちないことがある
- ㉗意図的でなく、顔や体を動かすことがある

チェック数（自閉的傾向）

集計

／ 27